

# 本を選ぶ

## 高校図書館版

NO.28

1999年(平成11年)11月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28-517 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

### 高校一年のころ

私の中学・高校時代は、今のように本が多くなかったし、ヤング・アダルトなどの区分もなかった。少女小説を卒業すると、多少背伸びしながら、世界文学全集の中のいくつかの作品を読みふけたものである。『ジャン・クリストフ』『チボー家のジャック』『車輪の下』『青春はうるわし』『カラマーゾフの兄弟』『アンナ・カレーニナ』『二都物語』『デヴィッド・コパフィールド』…などとあげていくと、こうした作品を読んだころの感動が思い起こされ、そのころの自分がいとおしくも感じられる。とくに清純な愛と深い悲しみに彩られたシュトルムの短編『みずうみ』には、たいへん感激して、クラス・メートとともに台本を作って、学園祭の折りに放送劇として発表したものだ。私はナレーター役をつとめた。高校一年の秋の、忘れられない思い出である。

『星の王子さま』にであったのも、ちょうど同じころだったが、それまで読んできた作品とはまったくちがった、なにかふしぎな趣が感じられた。ストーリーのおもしろさ、人間の心理や内面の葛藤のたくみな描写、人間関係の複雑さなどを重点的に読みとってきた名作文学とはちがい、読み流したときには少しもおもしろいとは思わなかった。それなのに、心のどこか深いところに、

しっかりと刻み込まれるなにかがあった。それがなんなのか、読み直すたびに考え、年とともに少しずつわかるようになった気がする。

作者自身の描いたかわいらしい王子の姿や、「星」というロマンチックな題名から(原題は「小さい王子」)日本では、若い女の子のアイドル的キャラクターになり、ものやわらかな語り口から、幼稚園児にまで読み聞かせようとする人もあって、童話として定着した感があるが、作品の生まれた時代背景や作者の思いを考えれば、年齢を重ねてこそ理解できる物語であるといえよう。この本ばかりでなく、名作といわれるものは、年齢を問わず読みつがれるものであり、若い時には見えてこなかったものが、後になってわかることがしばしばある。私の青春時代を豊かにしてくれた作品群を、これからまた少しずつ読み直してみたいと思っている。きっと若い時とはちがった感動が得られるにちがいない。

私が最近翻訳出版した『片目のオオカミ』(ダニエル・ベナック作、白水社)も、それぞれの年代によって、さまざまな考え方でできる作品である。フランスだけでなくヨーロッパの国々でベストセラーになっただけあって、現代社会の諸問題を写しとりながら、人間と動物の共生を鋭く、また愛情をこめて描いている。児童文学の枠を越えて、多くの人々に読まれる文学性をそなえた名作といつてよいだろう。

このような現代の作品であれ、古典であれ、十代のころに出会って、感動を受けた著書は、たとえ活字ばなれの世代にとっても、一生を通じて心の財産になるにちがいない。

(末松氷海子：フランス児童文学研究・翻訳家)

## 司書が正規採用になった日が 図書館記念日

創立75年になる兵庫県神戸市神港学園高等学校は、地元の元町商店街のみなさんが子弟のために創立した学園です。図書館の大切さについて、創立当初の文書にも高らかに謳われています。



川端先生を中心に左が司書の木下さん、そして図書部のみなさん

図書館系の川端先生は、職員会議にはかつて司書の木下幸代さんが正規職員になった1996年5月11日を、神港学園図書館記念日としました。その日は、図書部のOBやお客さんを招くなどして、お祝いをしました。その日から遡ること9年の1987年、川端俊之先生には、クラブ活動推進部副部長・3学年クラス担任・授業時間16時間という校務分掌に加えて図書館係主任とクラブ活動の顧問の仕事が加わりました。

初開館日の入館者4人、貸出1冊。貸出があったことがうれしくて、今でもその書名を覚えているそうです。川端先生は、「子どもたちを図書館に呼び戻したい」との一心で、開校以来の書籍を廃棄したり、紐でくくられたままの本をそれぞれの場所に収めたりと、館内整備に精を出すうち、子どもが手伝ってくれるようになりました。当時は放課後だけ開館していましたが、子どもたちからの要望で、昼休みも開館するようになりました。図書館系の先生方が交代でカウンターに立ちましたが、決まった時間にきちんと図書館に来るのはなかなか難しく、最後は川端先生が一人で昼休みと放課後に図書館を開けました。その年の入館者は4064人でした。

2年目。クラス担任をおり、規則を変え、貸出方法をブラウン方式にかえました。オリエンテーションも始め、一人に1冊ずつ貸し出しました。ところが、蔵書が5千冊弱と少ないので、1クラス終わるとそのときに貸した本が戻ってこないで次のクラスのオリエンテーションができません。待っていても本が返ってくるとはかぎらないので、返却を求めてクラスをまわりました。それを自分では「移動図書館」と名付けたそうです。

子どもたちから、試験中だけでもいいからと朝の開館をのぞむ声が強くなり、8時から9時まで開けました。初めはふたりだけでしたが、そのうち50人くらいが静かに勉強するようになりました。コピーをしてほしい、教科書も置いてほしい、また先生方から

の要望も出てきました。そのすべてに応えました。

3年目には図書委員(各クラスから一人)の一人の子どもが校内の出来事やタレントニュースなどで新聞をつくり、それを図書館におきました。そこから出版部が生まれ、学園の親睦雑誌『ひろば』が生まれ、調査部やツア一部まで生まれ、読書会も復活しました。子どもたちと一緒に他校の図書館や公共図書館に出かけ、良いと思った展示はすぐに真似をしました。教職員組合でも司書採用の要求が再び始まりました。最初の要求は川端先生の前任者が出していました。

4年目。川端先生の授業時間が10時間に軽減され、昼休みから5時まで開館できるようになりました。図書委員の有志で、初めて校内の文化祭に参加し、生徒会活動との連携もとれるようになりました。生徒会顧問の先生方が研究集会で手に入れた各種の実践記録で特別棚をつくり、図書館としても関連の図書を購入しました。これ以後11月の読書月間に、「文化祭を振り返る」という写真展を図書館で開催しています。

5年目。図書館組織が校務分掌より独立しました。これを機に県立図書館に直接レファレンスができるように電話機を替え、ファクシミリ契約も済ませました。教職員図書委員会も月一回定例化し、年度末には業務報告を専任司書採用の要求とともに学校側に提出しました。図書委員の元気な子どもたちの活動が図書部として生徒会所属のクラブになり、マンガ同人誌『へろへろ』も創刊しました。

このころ手狭になった学校の移転問題がおき、川端先生は地域史を調べておくことの大切さに気づきました。古書店を巡って学園創立者大伴茂の著作を集め、図書部員が調査研究した地域史を一人ひとりが本の形に仕上げることを始めます。

この年の朗報は、次年度にパートながら司書の採用の回答を得たことでした。(つづく)

# 生物学は面白い！

藤田美砂子

最近は高校生の中で、生物学の人気のないという。医学部の受験者ですら、生物学を専攻していない学生がかなりいるそうだ。

チャールズ・シンガー著『生物学の歴史』は私たちに生物学の本当の楽しさを教えてくれる。紀元前の昔から、人間は「生命とは何か」を問いつづけてきた。それも教会から異端視されて焚書・火刑にあつたり、新しい種の発見のため長年月を命がけの探検に出かけたナチュラリストもいた。自然の謎を解き明かそうとの努力や挑戦の歴史は、私たちが生物学の原点に立ち返らせ、わくわくさせる。いくつかを挙げてみる。

西洋の科学史はヒポクラテスから始まる。ヒポクラテスは医学の父として有名だが、生物学の父でもある。医学と生物学は同じルーツだった。科学的な観察を行い、かつ今もその著作を残している最初の人がヒポクラテスである。アリストテレスは哲学者として有名だが、彼は時代を超えた最高の生物学者のひとりとしても評価される。大好きだった生物の観察をし、鋭い判断力をもって理論を構築し、生物学著作集を残した。人類の全知識を網羅しようと企てた独創的な思想家だったのだ。その記述からは、生き生きと生物の観察をしているアリストテレスの様子が伝わってくる。古代でもうひとり傑出していたのは医師ガレノスだった。ローマ皇帝の侍医となり、解剖学・生理学に卓越し、膨大な著作を成した。ことに後世への彼の影響力は強大で、キリスト教の影響と相まって以後数世紀の間、その記述内容は誤りなしとされ、いかなる訂正も許されなかった。

科学にとっても暗黒時代であった中世を過ぎ、16世紀には科学も芸術のあとを追って息を吹き返す。その両者に業績を残したのが、ルネッサンスを代表するレオナルド・ダ・ヴィンチだったが、近代解剖学の幕はヴェサリウスによって落とされ

る。画期的な彼の『人体の構造』の初版では、まだガレノス説に従っているが、12年後の第2版では、揺れ迷いながら疑問を投げかけ、さいごはガレノスのいう心臓の両心室の小さな穴の存在を否定してしまう。この変化は生物学における革命前夜を象徴するエピソードであった。

顕微鏡の普及によって夥しい動・植物の多様性が認められると、それらを区別し整理するための分類体系が必要となり、二名法が考案される。

18世紀になるとクック船長のエンデヴァー号での3年間の太平洋航海をはじめ、インヴェスティゲーター号のオーストラリアとタスマニアの探訪など、ナチュラリストらに乗せて世界の動・植物が探査された。ビーグル号の4年にわたる航海で、大洋の孤島に生息する動・植物の固有種を観察したことが、ダーウィンに種の起源の着想をもたらしたのはいうまでもない。

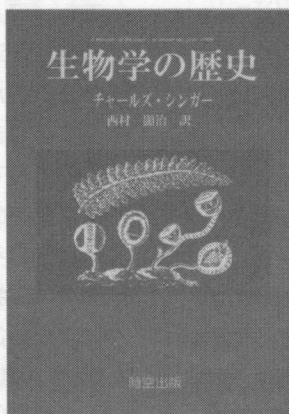
19世紀以降では細胞、生命過程の本質、体の中の働きが相互にどう関連するか、個体の発生、生殖、遺伝など今日の重要テーマにつながる問題を非常にいていねいに解説し、評価を下してよく理解できる。最先端の課題を考えるベース

となろう。シンガー自身も記しているように、「広い歴史の展望なしには、現に議論している大きな問題の本質は把握できない」のだ。

豊富な図版も本書の特徴である。アリストテレスの生物学著作集での記述は精緻で、彼の図版はとうに紛失しているのに、その本文から図が書き起こせる。そういったオリジナルのものを含む約200点の楽しい図が想像力をよりかきたてる。また、ルネッサンス期に活躍したゲスナーの図は美しいが、母子のクジラの図は乳房、背びれ、呼吸孔が大きめに描かれコミカルで、ブロンクのクジラの図と比べて見劣りする。それはチューリヒに住んでいて、海の動物を見たことがなかったためだという。理科教育は現物に当たるのが一番だという例だ。

チャールズ・シンガーは英国の科学史家で、多数ある著書のうち、『科学思想のあゆみ』『医学の歴史』等の邦訳がある。

(ふじた みさこ：時空出版)



『生物学の歴史』チャールズ・シンガー著／西村 顯治訳／A5判／530頁／定価15000円＋税／時空出版

# 授業との連携は学校図書館の醍醐味 スタッフマニュアルをつくらう(4)

木下 通子

2000年まであとふたつきになりました。以前、本誌で「コンピュータ導入奮戦記」(14~24号)を連載させていただいていたので、それを読んでくださっている方はおわかりになると思うのですが、なんと、うちの学校の貸出ソフト「かすぞう君」が、巷でいう2000年問題にひっかかることがわかって、ここにきて急遽パソコンのソフトを変更することになり、今、その作業に追われています。そんな中でも、リクエスト本の処理はしなくちゃいけないし、データの入力しなくちゃいけないし、新刊案内もださなきゃいけないし…。このところ大忙しです。

## やりがいのある授業との連携

さて、いろいろな図書館業務の中で、準備に時間はかかるけど、いちばんやりがいがあるのが授業との連携です。先生方にとっても2学期は落ち着いて授業ができる時で、図書館での授業がどんどん入ってきます。

よく、新人の司書の方と話をしていると、「図書館を授業で使ってもらいたいけれど、どうやってアプローチしたらいいのかわからない」と言われます。授業と連携するのは、相手の先生によってもやり方が違うし、本来ならマニュアルになるものではないのですが、今回はうちの学校のやり方を例にとって、授業で図書館を使う時の対応について書いてみたいと思います。

授業で図書館を使うという経験をしたことのない先生に図書館を利用してもらうためには、まずPRが大切です。うちの学校の場合、新一年生にオリエンテーションをするのと同じように、新・転任の先生方にも4月に1時間、時間をとってオリエンテーションを行っているのです。新しい先生へはその場所で積極的なアプローチを行います。(本誌26号)

その後は日常の会話の中でこちらから話をふっていきます。本を借りに来られた先生に、どんな授業をされているのかをそれとなく聞いてみて、

「それなら図書館としてはこういうことができるのですが、よかったら図書館も使ってください」とPRします。図書館側から積極的にアプローチしていくのには、司書にかなりのエネルギーが必要です。仕事にも余裕がなければできません。言ったからには、ある程度の無理難題にも応えなくてはいけないので、心の準備も必要です。

でも、何人かの先生に授業で使ってもらえて、その授業が満足いくものになれば、次からはこちらから声をかけなくても図書館を利用してくれるようになります。まるで固定客をつかもうとするお店のようですが、まずは呼び込みをしないとお客は来ないのです。そこが司書にとっていちばん苦しいところですが、実際に授業と連携して、よい授業に出会えると、その苦しみは帳消しになって、また、こういう授業に出会いたいという気持ちでいっぱいになります。授業との連携には、学校図書館ならではの醍醐味があります。

さて、うちの学校の図書館は、授業で三つのパターンの使われ方をしています。調べ学習、司書のブックトークや朗読、それからHRでの利用。自習の時に図書館で勉強という学校も多いと思うのですが、うちの学校は自習の時には図書館に来てはいけないことになっているので、だいたい3つに分類できます。私自身は、授業でブックトークや朗読をするのがいちばん好きなのですが、ここではまず、図書館としていちばん使われやすい「調べ学習」について、段取りを見ていきたいと思います。

## 調べ学習の段取り その一

先生が図書館を使い慣れてくれば対応が変わってきますが、「調べ学習で図書館を使いたいんだけど…」という依頼は、だいたいとつぜんに舞い込みます。依頼を受けたら、いつ、どのクラスが、どういう授業をするのかを教師に聞いて、まず他の授業と重ならないかどうか確認します。それから、教師とのうちあわせに入ります。

## ★事前準備に入る前に

対外的に

- ・公共図書館と資料の貸借についてよい関係を
- ・近隣他校と資料の貸借についてよい関係を

学校の中で

- ・先生へ図書館をPRし、親しんでもらう
- ・新転任職員向けのオリエンテーションの実施  
(本誌26号)

司書の心の中で

とつぜんの依頼にも応えられるエネルギーや行動力や精神力をたくわえる

## ★調べ学習 図書館側の準備開始

- ①教科書に関連している授業の場合は、わからないことは教わっておく
- ②資料収集に入る  
近隣の学校や公共図書館から借りる  
この本の貸出用に、仮のブックカードを作る  
などいくつかの作業が必要
- ③関連の資料を、「〇〇の授業の関連図書」などの表示をつけてコーナーを作り、本が使えるようにする
- ④必要に応じて関連資料のブックリストを作るようにしている

## 調べ学習の段取り その二

打ち合わせの時に、図書館側として教師に確認しておかなければいけないことがいくつかあります。教師が生徒に配るプリントを持ってきてくれる場合は、それを見ながらいくつかのことを質問します。プリントには、調べ学習の目的、提出日(発表授業の場合は発表日)、レポートの規定、内容に盛り込まなくてはいけないこと、作成上の注意事項が書かれている場合がほとんどですが、プリントに書かれていない次のことについても質問します。①この授業のねらいはなにか ②教科書に即した授業だったら教科書のどのページが該当するのか ③生徒たちにはプリントの説明をしてあるのか、これからなのか、個々でテーマを選択する場合、もう決まっているのか、これから選ぶのか。

## 調べ学習の段取り その三

授業のねらいをきちんと聞いておくことはとても重要です。教科書の進度が速くて時間があまったからという理由で調べ学習をする場合もありますが、今まで教わってきた単元のまとめとして調べ学習をするのか、導入として行うのかでは、生徒の必要とする資料の細かさが違います。私は調べ学習をするときには、関連の資料を事前に別置して、必要に応じて関連資料のブックリストを作るようにしているのですが、教師によっては「資料を探すのも勉強だから」と自分で書架を探させた

## ★調べ学習 まず教師と打合せ

- ①この授業のねらいはなにか(本の収集の範囲が違ってくる)  
導入として行うのか  
単元のまとめとして行うのか  
その他の理由で行うのか
- ②教科書に即した授業だったら教科書のどのページが該当するのか
- ③テーマについて  
同一テーマなのか  
生徒が個々でテーマを選択するのか  
それはもう決まっているのか、これから選ぶのか
- ④レポート作成上の注意事項  
提出日(発表授業の場合は発表日)  
レポートの規定  
内容に盛り込まなくてはいけないことなど
- ⑥①～⑤を生徒は知っているのかどうかを確認
- ⑦この授業に図書館はどう関わるのか  
他の授業と重ならないかどうかの確認も必要になる

いという先生もいます。こちらがどんな形で授業準備をすればいいのか、どんな資料を用意すればいいのかというのは、教師のねらいによって変わってきます。

この授業が教科書に関連している授業だったら、私も必ずその部分を読んで、わからないことは教わっておきます。授業が始まると、生徒に資料について質問されることがあるので、生徒がどんな授業を受けているかを知っておく必要があるのです。

プリントの説明やテーマ設定がしてあるかどうかは、関連資料を揃えるときに必要な情報です。教師によっては、調べる内容が多いのに期間短い、図書館として資料を揃えにくいテーマ設定がしてあるなど、難しい条件を提示してくる場合もあるのですが、もし生徒にこの条件を連絡してあるのであれば、条件通りにできるだけ多くの資料を探さなければなりません。教師の頭の中だけでのプランであれば、図書館からの要望も盛り込んでもらい、内容をつめていくことができます。

図書館に事前に連絡がなく、生徒にプリントも配ってしまっていてテーマも決まってしまう場合がいちばん大変です。以前に社会の授業で、「外国人だったら誰でもいいから一人選んで、その人について調べるといふ」授業が入ったのですが、図書館に連絡があった時には生徒は誰を調べるか決めていて、資料がなくて困ったことがありました。歴史上、ある程度著名な人物なら本や資料はそろっているのですが、今、流行っているミュージシャンなどごく最近の人や、何をやっているのか

よくわからない人！（漠然としたテーマだと、こういう場合もできます）の場合、2週間で仕上げなくてはいけないレポートだから資料をすぐに用意してくれと言われても難しいのです。教師が事前に図書館に連絡をくれて、内容について打ち合わせができると、資料収集の事情についても説明できて、生徒にも図書館にも無理のない授業ができます。

教師との打ち合わせが終わると、図書館は資料収集に入ります。うちの学校の場合、近隣の学校とネットワークを組んでいて、車を回して本の貸借を行っているのです。どんな資料が必要かということを書いた依頼書を各高校にファクシミリすると、本を自動的に貸してくれるシス

テムになっています。大量に本を貸してもらいたい時に、本当に助かっています。次に他校や地元の市立図書館から借りた本と、うちの学校の本をあわせて、ブックリストを作ります。作成したブックリストは生徒に提供すると同時に、本をお借りした学校に本を返却する時にお渡しします。そして、ブックリストを作るのと同時に、「〇〇の授業の関連図書」などの表示をつけてコーナーを作り、本が使えるようにします。一夜貸出などの方法で他の図書館から借りた資料を貸し出す場合もあるので、貸出をする場合は仮ブックカードを作ったりする作業もします。（つづく）

（きのした みちこ：埼玉県岩槻商業高校図書館）

## 北御門二郎 入魂の詠 20年ぶりの刊行！

### トルストイ 三大長編

## 復活 第1回配本

「心で訳された」あるいは「入魂の詠」とも評された、北御門二郎の不朽の名訳をここにふたたび世に送る。

A5判／定価：本体2800円＋税

第2回配本 アンナカレーニナ（上・下）

第3回配本 戦争と平和（上・中・下）

### 東海大学出版会

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4  
電話03(5478)0891 総合目録呈  
<http://www.press.tokai.ac.jp/>

中国の漢字の原点を探究して五十年！  
白川文字学・古代学の全貌を解く鍵が、いま、ここに！

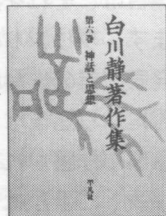
## 白川静著作集 全12巻

白川静 <立命館大学名誉教授>

造本・体裁 A5判、上製、函入、平均540  
ページ、9ボ一段組み、月報付

定価：本体7,000～8,000円／  
全12巻セット定価：本体89,500円

●全巻セット一時払い特別定価：  
本体80,000円（申込締切99年12月末日）



99年11月刊行開始！◆内容見本呈◆

平凡社 〒152-8601 東京都目黒区碑文谷5-16-19  
TEL:03-5721-1234 FAX:03-5721-1239

## 家庭科の授業実践

— 目白が丘の学舎を巣立って —  
宮崎礼子 編著／B5・256頁／本体3000円

## 家庭科教育試論

— 今日の課題をめぐる —  
宮崎礼子 編著／A5・224頁／本体2500円

月刊 家庭科研究 '99年9月別冊

## 家庭科が子どもに歓迎されるとき

— 新学習指導要領Q&A —

家庭科教育研究者連盟 編／A5・96頁／本体952円

食のいとなみが からだをつくる こころをつくる

月刊 **食べものの文化** A5・80頁  
本体505円 年12回

増刊 A5・80頁・本体1000円 年2回／別冊 年5～7回

芽ばえ社 〒173-0004 東京都板橋区板橋1-35-9 エムアビル6F  
TEL 03-3579-7851 FAX 03-3579-7854

税別格

図書館必備！

東京都文京区本郷七丁目二一八  
電話〇三―三八―三一九一―五一一

吉川弘文館

# 日本史 研究者辞典 全一冊

日本史研究の先駆者たち「内容見本送呈  
その経歴を網羅したユニークなデータファイル

日本歴史学会編 菊判／六〇〇〇円  
明治から現代までの日本史および関連分野・郷  
土史家を含め、学界に業績を残した物故研究者  
一・二・三・五名を収録。生没年月日・学歴・経歴・主要  
業績や年譜、著書・論文目録・追悼録を記載。

# 『刀水』No.1



■対談■

網野善彦-田中圭一

「日本の歴史を見なおす」

新しい「刀水書房図書出版目録」ができました。  
PR誌「刀水」創刊号を兼ねています。  
季刊で毎月、対談・座談会を予定しています。  
書店または直接刀水書房にお申し込み下さい(無料)

予告

## 近世日本対外関係文献目録

編集 中田易直/B5・920頁・本体5万円

11月末刊:1868~1993年刊行の文献、3万点を収録

東京都千代田区西神田2-4-1  
Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234

刀水書房

## 調べて学ぶ 世界のすがた

【全5巻】 B5判 各48頁 揃本体16,000円

世界の国々と  
人々を知り、  
課題を学ぶ

1. 平和と人権
2. 経済と貿易
3. 民族・国家・社会
4. 人々のくらしと地球環境
5. 人々のくらしと文化

## 調べて学ぶ 日本のしくみ

【全5巻】 B5判 各48頁 揃本体16,000円

豊富な資料と  
写真で学ぶ  
現代日本の社会

1. 政治と世界のつながり
2. 経済とくらし
3. 地方自治と安全・運輸
4. 教育と福祉・人権
5. 環境と公害

大日本図書 〒104-0061 東京都中央区銀座1-9-10  
☎03(3561)8679 FAX03(3561)3065

調べて学ぶ、日本の民俗文化遺産

イラストで見る人の旅 物の旅 心の旅

# 人と物の旅百科

[編著] 岩井宏實  
[イラストレーション] 中林啓治

【全5巻】

- 第1巻 御利益をわがて…寺社詣で
- 第2巻 川と海を渡って…船による交通
- 第3巻 山・里を越えて…技術を伝えた職人たち
- 第4巻 新天地を求めて…商人と移民
- 第5巻 交通の歴史・索引

揃本体15,000円 ※セット販売のみ  
■小学校高学年・中学・高校向 NDC380 (民俗)

河出書房新社 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2  
TEL03-3404-1201

## 美術全集 アート・ライブラリー

【第1期30巻】完結 / 揃本体54630円  
各本体1631円~2000円

●A4変型判・128頁(カラー図版平均50点)・並製  
監修=千足伸行・島田紀夫・森田義之

・美術出版の名門、英国のファイドン社との国際共同出版。  
・これまでには見られない個人収蔵作品もふんだんに収録。

ラファエル前派 オランダ絵画 モネ ピカソ ピサロ  
モディリアーニ セザンヌ カンスタブル エルンスト  
ゴッガン ターナー ゴッホ マティス レンブラント  
イタリア・ルネサンス絵画 ムンク マグリット マネ  
ホルバイン シュルレアリスムの絵画 ボナール ギャ  
ルノワール ホイッサー キュビズム ゲインズバラ  
フラ・アンジェリコ プリュージェル ドガ シスレー

西村書店 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-6  
☎03-3239-7671 Fax.03-3239-7622

## しのびよる化学物質汚染

最新刊●安原昭夫(国立環境研究所総合研究官)  
化学物質汚染の蔓延する今、どのようにしたら持続可能な社会が作られるか。科学的データをもとに、その未来像を提言する。 定価1890円

## 遺伝子組み換え作物と環境への危機

最新刊●ジェーン・リスラー マーガレット・メロン(米・憂慮する科学者同盟)  
商業化ベースで、遺伝子組み換え作物が大量生産されようとしている今、  
環境(生態系)へのリスクを根本から検証する。 定価2100円

## だれでもできるごみダイエット

最新刊●崎田裕子(環境ジャーナリスト・元気なごみ仲間事務局長)  
徹底的なごみ減量に成功した実践ノウハウのすべてをイラストで解説し  
ます。ごみをなくして心豊かに暮らそう。 定価1365円

## だれでも生ごみ堆肥化大作戦

好評3刷●有機農産物普及・堆肥化推進協会編 定価1365円  
家庭の生ごみは貴重な資源。燃やさないで土へ還す実践マニュアル。

合同出版 東京都千代田区神田神保町1-52  
☎03(3294)3506 fax03(3294)3509 税込

## げんだいミステリーワールド 全15巻

揃本体54,000円(税別)

A5  
変判  
平均  
256  
頁

・くらしっくミステリーワールド 全15巻

揃本体57,000円(税別)

・ポピュラーミステリーワールド 全15巻

揃本体54,000円(税別)

・もだんミステリーワールド 全15巻

揃本体54,000円(税別)

大活字本  
シリーズ

ポピュラー時代小説 全15巻

揃本体54,000円(税別)

・くらしっく時代小説 全15巻

揃本体54,000円(税別)

尾崎秀樹  
監修

リブリオ出版 〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-11  
TEL.03-3943-8885 FAX.03-3943-3540

# 親と子で 考える 学習障害 (LD)



メル・レヴィン 著 楓セビル 訳  
ひとくちに学習障害 (LD) といっても症状も対処法も  
様々な個人に対して、かならず乗り越えることができ  
るという確信を与え、そのための具体的なアドバイス  
を示した好著。本体2200円 ISBN4-327-37901-8

研究社 TEL03 (3288) 7777 FAX03 (3288) 7799

# 科学・技術大百科事典

〈全3巻〉 A4判 3204頁 本体各95,000円  
分売可 揃本体285,000円 好評発売中

# スペイン・ポルトガル

図説世界文化地理大百科(17回配本) 本体28000円

2000年 朝倉書店  
事典・辞典・ハンドブック目録

1999年一秋  
朝倉書店 総合図書目録

■ご請求いただければお送り致します。

**朝倉書店** 東京都新宿区新小川町6-29  
〒162-8707 ☎03-3260-7631

限りなく広がる知識の世界 辞典550点突破!

**算数大好きになる事典**  
上野富美夫著 本体1900円

**古事記・日本書紀を知る事典**  
武光 誠著 本体2600円

**記念日の事典**  
加藤迪男編 本体1800円

**古典文学鑑賞辞典**  
西沢正史編 本体2900円

**ヨーロッパ橋ものがたり**  
成瀬輝男著 本体2900円

**東京堂出版** 東京都千代田区神田錦町3-7  
〒101-0054 ☎03(3233)3741

# 幻想文学大事典

ジャック・サリヴァン編  
高山宏/風間賢二監修

B5判・上製函入 定価20,000円  
ISBN4-336-04108-3

ゴシック小説からモダンホラーまで、古今の怪奇  
幻想作家300人を総解説。映画・美・音楽までを  
網羅した決定版幻想百科。作家の伝記情報・作品  
リスト・邦訳書誌データを完備。一流の執筆陣に  
よるテーマ・エッセイも充実、「読む事典」とし  
ても楽しめる画期的大冊。参考図版300点。付録・  
本邦幻想文学アンソロジー・叢書リスト。

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15  
TEL03-5970-7421 FAX03-5970-7427

# 思春期の性といのち



four seasons of teen-ager II  
産婦人科医の出会った子どもたち

上田 基 (産婦人科医)

新しい生命が誕生する瞬間は、  
何ものにも代えがたい。  
幸せな妊娠・出産・育児をし  
てほしい。産婦人科医が「十  
代の性」の現実と、生命の輝  
きをえがく。  
保護者、教師必読の一冊。

四六判・美装カバー/168頁/1600円

**ミネルヴァ書房** 京都市山科区日ノ岡堤谷町1  
TEL075-581-0296 ※価格税別

# 数の悪魔

算数・数学が楽しくなる12夜



エンツェンスベルガー ベル  
ナー絵 丘沢静也訳 数学な  
んてこわくない! 悪魔が案  
内するはてしなく不思議な数  
の世界の魅力。10歳からみん  
なが楽しめる、オールカラーの  
愉快的入門書。2982円(税込)

**晶文社** 東京都千代田区外神田2-1-12  
電話03(3255)4501

